



学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～

子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。

『“つながり”を守るため』

校長 高橋 励

テレビでは、オミクロン株の感染拡大が話題になっています。沖縄・広島・山口の3県ではまん延防止等重点措置が適用されました。市保健所でも7日までで9件、10日、11日には27件ずつと、新型コロナウイルス陽性者が確認されています。

鼻までマスク・検温・石けんで手洗い・密にならない・こまめな換気はすでにみなさんのなかでは当たり前になっていると思いますが、いま一度、自分の生活習慣を振り返ってみませんか。「感染防止のかけ声」になれてしまいがちなわたしたちは、新型コロナウイルス

スが広がり始めたころにいられた「自分が感染しているかもしれない。相手も感染しているかもしれない。もしそうであったとしてもコロナウイルスから自分と自分の身近な大切な人を少しでも守れる行動を心がけよう」という呼びかけのことばを思い出しておきたいですね。

浜之郷小学校では、おとなりさんやグループのお友だちの考えを聴きあいながらお互いに学んでいます。ともしつながらあえる、そんな当たり前の毎日をひとりひとりの心がけて守っていききたいですね。

「見えないところでがんばるってカッコいい」

「校長先生、冬休みだからってテレビばかりみていたでしょ」と思われそうですが、「郷小だより」1月7日号で話題にしたCMの別バージョンが心からはなれないので紹介します。水素自動車のレーシングカーとレースドライバーを写した写真を見せてそのカッコよさを自慢しているようすを見ながら、水素エンジンを可能にする素材とそれを作り出した人を思って「目に見えないかっこ良さもある」と言い切る小学生。

わたしたちの生活のなかで解決していかなければならない課題は実はたくさんあるものです（新型コロナウイルスもその一つですね）。ふだんのわたしたちには見えないところでがんばってくれている人に支えられているのでしょうか。

「心で見なければものごとはよく見えないってこと。大切なことは目に見えないんだよ。」という『星の王子様』に出てくるステキなセリフもあります。「見えないところでがんばっている人を見つけられる心を持ちたいなあ」と思ったお正月でした。